

2 0 2 1 年度

履修科目案内

神戸 Y M C A 学院専門学校

ホテル学科

ホテル学専修科

目次

I. 教科概要

A. 一般科目 P.4

一般教養
クラスワーク
接遇マナー
日本語表現法
OA 実務
YMCA と宗教
ボケーショナル・オリエンテーション
オリエンテーションプログラム
福祉実習・課外活動
特別プログラム

B. 専門科目 P.6

ホテルマネジメント
料飲サービス基礎
料飲サービス理論と実技
レストラン&料飲実務
食品公衆衛生
ホテル宿泊概論
ビバレッジ実務&ワインサービス
サービス演習
ホスピタリティ論
旅行業総論
旅行業実務
旅行業 比較演習
選択 国内旅行業務取扱管理者受験対策
ブライダル総論
選択 ブライダルセールス
イベントプランニング

B. 語学科目 P.8

Basic English
Communication
English for service industry

Ⅱ. 実習・研修

ホテル学科は、神戸YMCA国際ホテル学校を前身として、日本ホテル協会兵庫県支部の要請のもとに1964年に開設されました。その後1976年に従来の1年制から2年制(本科)及び1年制(専修科)併設という新しい学制に変更しました。

そして1978年3月神戸YMCA学院専門学校ホテル専門課程とする専修学校となり、1988年4月より神戸YMCA学院専門学校商業実務専門課程ホテル学科、ホテル学専修科となりました。

ホテル学校は、キリスト教精神に人間教育の基礎をおき、経済の時代から文化の時代へと移行しようとする現代の社会状況にあつて、その新しいホテル産業の指導者と、又このために日常生活の中でこの使命を実践する人々を養成するために設立されたものです。その背景にはYMCAの世界119の国と地域に及ぶ世界最大の青少年団体の組織があり、世界のあらゆる状況の理解と認識を深めることができ、またこの世界にちからされた一つ一つのYMCAが愛と奉仕による一致をよびかけている事実は、日々の小さな行為の中から大きな幻を生むことを約束しているといえます。

従って、この学校は学生が自ら求め自ら応える姿勢と、この決意に燃えた同志としての仲間や先輩とから成り立っています。

〔方針〕

・人間性

キリスト教の愛と奉仕の精神を基礎とする「サービスのできる人……仕える人」を基本的な人間としてのホテルスタッフシップの育成

・専門性

正しい職業観に基づく職業教育という実学的観点から、経営学に基づいた実践的専門知識、技術の習得

・国際性

語学教育を中心とする国際教育に基づいて、国際的な場でリーダーシップを発揮できる者の育成

<サービスのできるスペシャリストを>

ホテルを中心とするレジャー・観光産業は、ホスピタリティ・インダストリィ（ホスピタリティとは“人をもてなす”の意）と呼ばれています。これは、次代を担う第三次産業として、ホテル・レストラン・旅行・レクリエーションと広範囲に及び、将来の国民生活や経済において重要な役割を果たします。この産業に進もうとされるみなさんは、幅広い知識と技術の専門性が要求されるとともに、“人をもてなす”上での人間性も求められています。すなわち、サービスのできるスペシャリストの養成を目的とした教科が重要となり、次のような編成がなされています。

2年間の教育課程では、1年次には一般教養、語学の基礎力、技術を、2年次にはそれらの基礎力と実習で得た実践的な知識をもとに経営管理を主体としたマネジメント理論と、専門知識を学びます。

語学教育

語学教育を国際教育の一環としてとらえ、国際社会の舞台であるホテルとその他の関連事業で働くために、生きた英語を学びます。

一般科目

立派なホテルマンになる前に、まずは立派な社会人、大人になる必要があります。一般科目では一般社会に必要な常識や時事問題について、また人間関係の作り方などを総合的に学びます。

専門科目

業界で必要とされる知識と技能を系統立てて学びます。また知識、技能のみならずサービススタッフとして必要なマインドについても主体的に学びます。

I. 教科概要

【一般教養科目】

科 目：一般教養Ⅰ

講 師：松本 梨香子

目 的：・2022年3月からの就職活動に向けた準備

・履歴書作成、自己分析、就職活動対策

テキスト：「勝つための就職ガイド SUCCESS」

科 目：一般教養Ⅱ

講 師：浅野 充・中道 愛子

目 的：就職活動をする上で役に立つ時事問題や、社会人として知っておきたい幅広い知識やものの考え方を知るきっかけとする。

科 目：クラスワークⅠ・Ⅱ

講 師：中道 愛子・古谷 茉穂

目 的：学生への各種連絡のほか、クラスづくりのためのアクティビティなどを通して、社会で生きていくために必要な知識の習得と、それを自発的に学ぼうとする意識を育て、社会で必要とされる論理的なコミュニケーション能力や精神的なバランス感覚、コミュニケーショントレーニング（対人関係力の形成）にも配慮する。

科 目：接遇マナーⅠ

講 師：福田 弥生

目 的：夏期実習に向けた動作の基本と、社会人としての一般常識を身に付ける。

テキスト：「マナーの基本と就職対策」

科 目：接遇マナーⅡ

講 師：福田 弥生

目 的：・就職試験のフォローアップ

・接遇の定義を考える

・興味を持って知識を得る

科 目：日本語表現法

講 師：福田 弥生

目 的：・日常の言葉遣いの間違いに気づき、夏期実習に備える

・電話対応、慣用句を含めた敬語の習得

科 目：OA実務Ⅰ

講 師：平出 富子

目 的：・パソコンの基本操作、インターネット・ビジネスメールの基本の習得

・タイピング技能の強化、就職の際の円滑なパソコン操作

・ビジネス文書においての表やグラフィックの利用

・Wordの基本操作、Power Pointを使ったプレゼンテーション

科 目：OA実務Ⅱ

講 師：平出 富子

目 的：・パソコンの基本操作、インターネット・ビジネスメールの基本の習得
・タイピング技能の強化、就職の際の円滑なパソコン操作
・ビジネス文書においての表やグラフィックの利用
・Excelの表作成、関数の利用、グラフ作成、グラフィックスの利用
・データベースの管理・運用スキルを身に付ける（並べ替え・抽出・集計）
・3D参照・ピボットテーブルの利用

科 目：YMCAと宗教

講 師：山内 慎平

目 的：YMCAが大切にするキリスト教や、それ以外の諸宗教の思想や文化に触れる。
様々な文化や価値観について理解を深め、自身や他者、世界について考えることを
目標とする。

科 目：ボケーショナル・オリエンテーションⅠ・Ⅱ

講 師：松本 梨香子

目 的：・就職活動対策（就活状況に合わせた面接対策の実技実施）
・面接実技練習と共に、面接官側を体感
・WEB面接・説明会対策の実施
・第一印象の改善

科 目：オリエンテーションプログラムⅠ・Ⅱ

講 師：中道 愛子・古谷 茉穂・坂本 孝司

目 的：日常の生活から距離を置き、自然の中で感性を磨く。
① 1・2年生の交流を深める・
② 他者とのコミュニケーションと協力を体験する。
③ ルールを守りながら楽しむ。
④ 異なった環境の中で新しい自分を発見する。

科 目：福祉実習・課外活動Ⅰ・Ⅱ

講 師：担任、各施設担当者

目 的：車椅子、アイマスクなどを体験し、障害を持つ方がどのように生活をしているのか
を感じ、どう接していくかを学ぶ。

科 目：特別プログラムⅠ・Ⅱ

講 師：担任、各施設担当者

目 的：社会人として、また学生として理解しておきたい事項を取り上げる。各種YMCA
プログラムに参加する。

【専門科目】

< 実務 >

科 目：ホテルマネジメント

講 師：中村 浩二

- 目 的：・ビジネスホテルに必要な専門用語、知識を身に付ける。
・最新のホテルの動向の情報を元に就職活動を行う。
・チーム編成におけるホテル経営を計画する。

科 目：料飲サービス基礎

講 師：小前 岳志

- 目 的：・料理・飲料の基本的な知識の習得
・ホテルの資質をテーマにディスカッションを行い、発表する。
・リーダーシップを高め、協調性と発想力を育む。

科 目：料飲サービス理論と実技Ⅰ・Ⅱ

講 師：松岡 大輔

- 目 的：レストラン実務で必ず役立つ実技を多く入れ、座学講義でもアクティブラーニングを取り入れる。また、インターンシップも視野に入れたレストランオペレーションを学ぶ。

テキスト：「西洋料理 料飲接客サービス技法」

科 目：レストラン料飲実務Ⅰ

講 師：檜山 和司

- 目 的：Ⅰ A レストランの日常業務である予約業務やメニュー管理、売上分析やリスクマネジメントを学び、ホテルならびに料飲接客で不可欠な国際儀礼の知識習得を目指す。
Ⅰ B 様々な食文化を理解し、西洋や日本料理の歴史、日本の食環境の現状を認識し、食事作法であるテーブルマナーやパーティーマナーを基礎から学ぶ。

科 目：レストラン料飲実務Ⅱ

講 師：綿谷 佳世子

- 目 的：・マネジメントの基本と、料飲部門における様々な実務に対して、その業務が持つ意味を学ぶ。
・マネジメントの基本を理解することにより、入社後に上司の指示や現場における様々な管理業務の意味を正しく理解し、積極的に業務に取り組む姿勢を身に付ける。
・マネージャーの仕事を理解し、サポートできるスタッフとなり得る基本知識を身に付ける。

科 目：食品公衆衛生

講 師：松葉 圭子

- 目 的：衛生管理と健康増進、食品の安全について学ぶ

科 目：ホテル宿泊概論
講 師：吉野 修
目 的：宿泊業務の係数管理とホテルシステムの理解

科 目：ビバレッジ実務&ワインサービス
講 師：小前 岳志
目 的：・飲料の基本的な知識の習得
・バーテンダー、ソムリエの実務経験
・シェーカー、バースプーンの正しい使用法
・ワインをお客様の前で抜栓する方法、手順の習得

科 目：サービス演習
講 師：綿谷 佳世子
目 的：・サービスの基本として現在のサービス現場においても使われている間違っ
た言葉遣いを認識し、様々な場面において正しい言葉遣いのできるスタッフとなる
ことを目指す。
・様々な場面におけるお客様の心理を推察し、状況に応じた適切な対応ができる力
を身に付ける。
・クレーム時のお客様の心理を推察し、状況に応じた適切な対応が出来る力を身に
付ける。
・サービスの現場において新人スタッフが直面する様々な“困った場面”を事例を
元に考察し、適切な対応とはを学ぶ。
・様々な場面における優先順位と状況判断の基準を学ぶ。

科 目：ホスピタリティ論
講 師：浅野 充
目 的：NPO法人 日本ホスピタリティ推進協会が認定するアソシエイト・ホスピタリ
ティ・コーディネーター（AHC）取得を目指してホスピタリティを体系的に学ぶ
ことに主眼を置く。
テキスト：「ホスピタリティ・コーディネータ教本」

科 目：旅行業総論
講 師：浜瀬 真知子
目 的：観光業界の分野である、ホテル業界と旅行業界の関連を踏まえて、国内旅行、
海外旅行に必要な実務基礎知識を身に付ける。
テキスト：「旅行業務入門」

科 目：旅行業実務
講 師：石田 美保
目 的：・自信を持って日本の案内・紹介ができるホテル・ツーリズム業界人を目指して
学習する。また、神戸・兵庫に特化した学習も行う。
・地方別・都道府県別の特徴・観光地・祭り・食などを学習する。
・白紙日本地図を見て47都道府県名とその位置を覚えることを目指す。
テキスト：「旅に出たくなる地図 日本」

科 目：旅行業比較演習

講 師：浜瀬 真知子

- 目 的：・1年次で学習した、国内・海外旅行実務を基礎として、各国別に観光地、ホテル事情を調べ、レポートを作成する。
- ・レポート作成したホテルを利用し、海外旅行を企画する。
 - ・アジア・オセアニア・ヨーロッパ諸国の観光地、ホテル、食文化について学習する。
 - ・海外地理検定の対策を学ぶ。

テキスト：「すぐに役立つ海外旅行地理ベーシック400」

科 目：《選択必修》国内旅行業取扱管理者受験対策

講 師：浜瀬 真知子

- 目 的：観光業界はもとより、幅広い分野で必要とされている国家試験である国内旅行業取扱管理者の合格をめざして、わかりやすく、各分野別に学習する。

テキスト：「科目別速習問題（国内）」

科 目：ブライダル総論

講 師：田中 貴郎

- 目 的：・ブライダルの総論的な知識の習得
- ・講師の経験談によるブライダル現場における実情の把握
 - ・ホテルにおけるブライダル部門の位置付けの確認
 - ・ホテル各部門に関わるブライダル顧客の重要性を認識
 - ・ブライダルの将来像の考察
 - ・プランナーやテナントスタッフの話を聞きブライダル業界の楽しさに触れる
 - ・シビルウェディングの模擬挙式の体験

テキスト：「ブライダルコーディネーターテキスト スタンダード」

科 目：《選択必修》ブライダルセールス

講 師：松本 梨香子

- 目 的：・2022年度1月実施のブライダルコーディネーター技能検定3級の受験及び合格を目指す
- ・実物のブライダルアイテムや映像を多数使用し、体感できる授業にする
 - ・後期模擬結婚式の土台となる知識を身に付ける

テキスト：「ブライダルコーディネーターテキスト スタンダード」

科 目：イベントプランニング

講 師：松本 梨香子

- 目 的：・挙式・パーティーを同時並行して企画・実施する。
- ・チームワークを学ぶこと、達成感を感じることを目的とする。

< 語学 >

科 目：Basic English

講 師：松永 あゆみ・ネイティブ講師

目 的：ホテル学科 1 年生対象。

ホテルで働くために必要な英語を確実に身に付けるために、まず基礎的英語力を補い、2 年次の専門英語学習に備えるのが目的。基本的文法の確認を中心とし、上級者には検定対策も行う。

テキスト：「My Next Grammar 2nd Edition」レベル 1～3

科 目：Communication

講 師：松永 あゆみ・ネイティブ講師

目 的：ホテル学科 1・2 年の合同授業

英会話力、コミュニケーションスキルをアップさせるためのクラス。

学年別でなく、レベル別に分けて授業を行う。

また英会話だけでなく、コミュニケーション力のための各種アクティビティ（障害者とのコミュニケーション、異文化とのコミュニケーションなど）を実施。

科 目：English for service industry

講 師：松永 あゆみ・ネイティブ講師

目 的：ホテル学科 2 年生対象。

ホテルで実際に働くために必要な英語をマスターすることを目指す。毎回、テーマ（フロントへのご案内、オーダーを取る、など）にそった表現を覚え、学生それぞれが講師と 1 対 1 の個別チェックに合格して次に進んでいくシステム。

科 目：《選択必修》日本語

講 師：前田 真奈美

目 的：留学生対象

- ・接客に必要な日本語の基礎を学ぶ
- ・実務的な仕事をこなすための高度な日本語力を身に付ける
- ・日本語で時事問題に触れる

II. 実習・研修

実習について

1 年次の夏には主にリゾートホテルにおいて、また 1 年次の春と 2 年次の秋には京阪神のシティホテルを中心に合計約 150 日間の実習を行う。

2 年間に合計 3 回の実習があるが、その全てを完遂しなければ卒業は認められない。
また希望者は、原則として 1 年次の春の実習から海外において実習することも可能である。
限られた 2 年間の学生生活の中で、将来の自分を磨く、今を大切に考えるならば是非とも海外実習に参加することを勧める。

目的

1. 職業に対する認識を深めつつ自己鍛錬をする。
2. 異文化について実際に体験することにより、それぞれの国の認識を深める。
3. 語学力の向上(英語・中国語)
4. 自己の適性なる職種を発見、研究し就職時における適正なホテル選びをする。
5. 実習を通して人間関係の大切さを学ぶ。
6. YMC A 組織の世界的つながりを認識する。
7. 海外旅行の仕組みを体験する。
8. 各セクションの仕事をするにより、ホテル技術の習得を行う。

国内実習先ホテル例

兵庫

ANA クラウンプラザホテル神戸
神戸ポートピアホテル
神戸メリケンパークオリエンタルホテル
神戸ベイシェラトンホテル&タワーズ
ホテル ラ・スイート神戸ハーバーランド

ORIENTAL HOTEL
グランドニッコー淡路
メープル有馬
みなと温泉 蓮

大阪

リーガロイヤルホテル
ホテルニューオータニ大阪
ウェスティンホテル大阪
ホテル阪急インターナショナル

セントレジスホテル大阪
ハイアット・リージェンシー・大阪
ホテルグランヴィア大阪
インターコンチネンタルホテル大阪

リゾート

星野リゾート
琵琶湖マリオットホテル
ホテルシーショアリゾート
アオアヲナルトリゾート
ホテルアナガ

軽井沢プリンスホテル
都リゾート志摩ベイサイドテラス
志摩観光ホテル
シェラトン沖縄サンマリーナリゾート

海外実習先ホテル例

HONG KONG THE HARBOURVIEW
SINGAPORE METROPOLITAN YMCA
U. S. A. ESTES PARK CENTER (YMCA of THE ROCKIES)
SNOW MOUNTAIN RANCH (YMCA of THE ROCKIES)

